

平成28年度 学校の教育活動に関するアンケート 集計結果 (保護者アンケート)

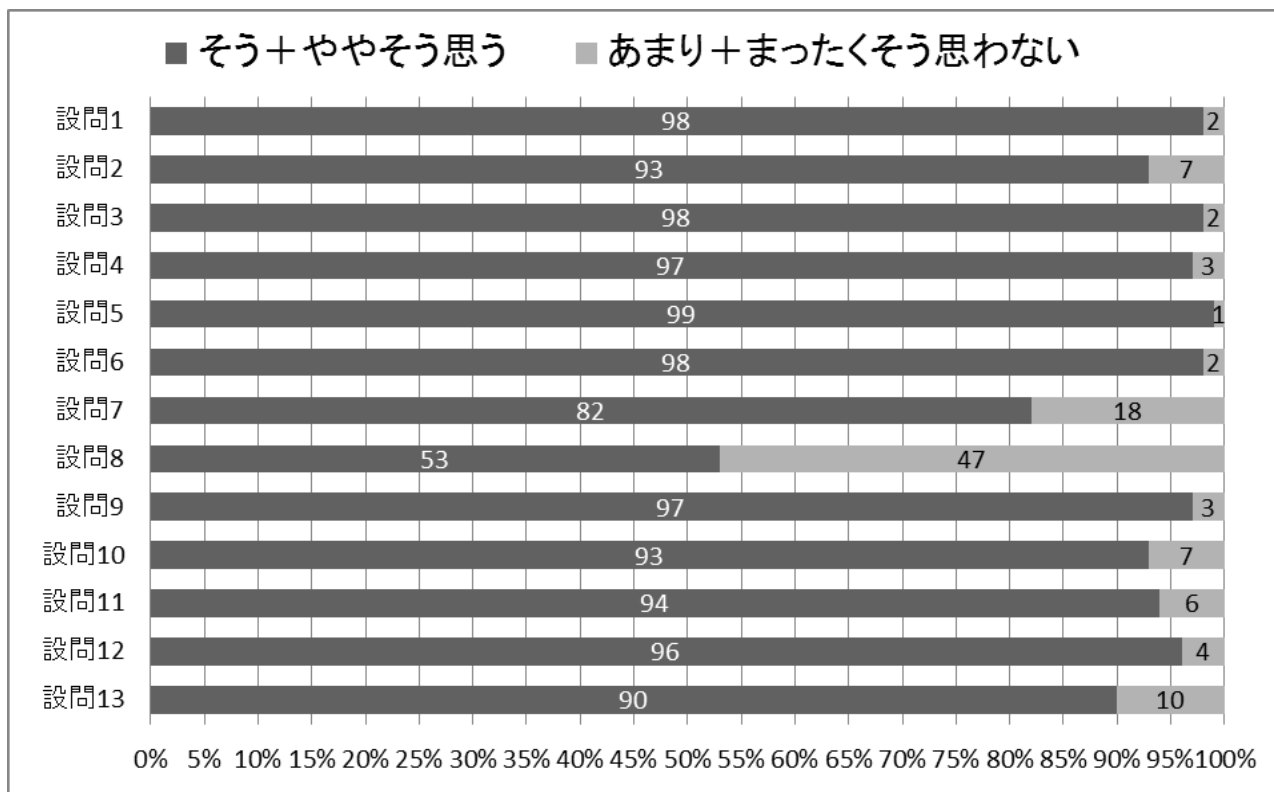
平成28年11月実施

得点	評価基準
4	そう思う
3	ややそう思う
2	あまりそうは思わない
1	まったくそう思わない

設問	評価内容 (カッコ内は、得られた回答数)	28年度	27年度
		得点平均 (186)	得点平均 (209)
1	お子さんの様子から、学校生活は楽しそうで充実していると感じることができますか。	3.68	3.68
2	お子さんへの指導は、工夫や改善により、実態に応じたより適切なものになっていますか。	3.55	3.55
3	保護者面談の話し合いでは、「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」等、お子さんの指導について、十分な説明を受けていますか。	3.73	3.77
4	お子さんのことについて、必要な面談や相談の機会がとれ、十分な情報交換がされていますか。	3.58	3.58
5	通信票はお子さんの成長の様子を的確に伝え、適切に評価されたものになっていますか。	3.75	3.74
6	学校はお子さんの健康について配慮し、適切に対応していますか。	3.71	3.74
7	校舎内外は安全で清潔ですか。	3.12	3.13
8	学校には学校生活に必要な施設設備が整っていますか。	2.69↑	2.56
9	学校は学習の様子を学校便りや学年・学級通信等によく知らせていますか。	3.65	3.62
10	学校は進路・福祉関係の情報を適切に提供していますか。	3.48↑	3.36
11	学校は交流学習や居住地校学習、地域での現場実習、作品展をとおして、地域とのつながりが図られていますか。	3.45	3.43
12	学校はPTA活動等において保護者との連携を積極的に行っていますか。	3.50	3.42
13	学校徴収金や就学奨励費の事務手続きは分かりやすく行われていますか。	3.40	3.36

＜上下の矢印記号は、前年度より0.1ポイント以上変動があった項目について記載＞

<保護者アンケート集計結果に関する分析・考察>



①評価がよかった項目(そう思う+ややそう思う:85%以上とする)について

13項目中11項目(85%)でよい評価を得ていることから、学校教育全般にわたって、本校の取り組みを好意的に受け止めていただいていると思われる。しかし、その中でも、設問13の「事務手続き」については、1割の保護者が「あまりそう思わない」と評価していることから、引き続き分かりやすい事務手続きに向けて努力していく必要があると考える。

②評価があまりよくなかった項目(あまり+そう思わない:16%以上とする)について

13項目中2項目(15%)で評価があまりよくなかった。設問7の「校舎内外の安全・清潔」については、昨年度も厳しい評価をいただいている項目であり、安全面・清潔面についてさらに意識を高めて取り組む必要があると考える。また、設問8の「施設・設備の整備」についても、昨年同様に半数近い保護者が厳しい評価をしている。現有施設・設備の有効活用の工夫とともに、計画的に必要な施設・設備の整備に向けた取り組みを進めていくことや近隣施設等の活用等が求められている。

なお、今年度は、長年要望してきたプレイルーム1～5へのエアコン設置が決まり、3年計画で順次整備していくこととなった。引き続き、保護者の声も参考にしながら、学習環境や施設・設備の改善に努めていきたい。

平成28年度 重点目標評価シート 集計結果 (自己評価教職員アンケート)

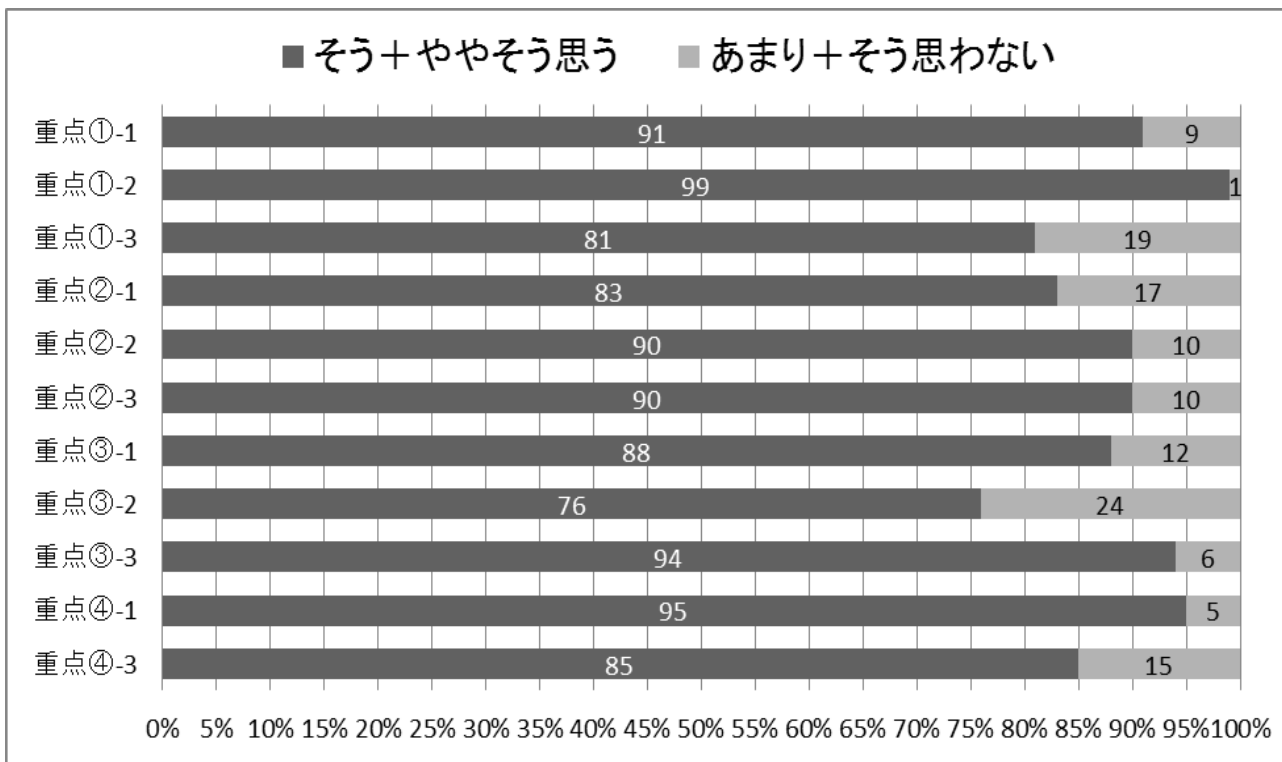
平成28年11月実施

得点	評価基準
4	そう思う
3	ややそう思う
2	あまりそうは思わない
1	そう思わない

重点目標	評価内容	得点平均
① 児童生徒一人一人のニーズに応じた指導・支援の充実	1 小学部・中学部・高等部の一貫性を大切にし、「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」等の効果的な活用が図られている。	3.11
	2 保護者や関係機関との連携・協力を深め、ケース会議や面談等、校内外の支援の充実に努めている。	3.52
	3 児童生徒の実態に応じた教育課程の編成・見直しに努めている。	3.05
② 教員の指導力・実践力の充実・向上	1 これまでの研究の成果や課題を整理し、授業研究や事例研究等をとおして、共同研究をさらに推進している。	2.95
	2 学校課題の解決に向けての基本的な研修を計画的に行い、授業の質の向上に努めている。	3.07
	3 校内外の研修等をとおして、教職員一人一人の専門性の向上に努めている。	3.08
③ キャリア教育の充実	1 キャリア教育の研究の成果をふまえ、児童生徒の発達段階に即した「生き方」や進路に対する意識の向上に努めている。	3.05
	2 教育課程におけるツール(キャリア発達段階表、指導内容表利府版)を活用し、本校の特色を生かしたキャリア教育の充実に努めている。	2.79
	3 労働・福祉関係機関等との連携を図りながら、的確な情報収集に努め、本人の希望に沿った進路の実現に努めている。	3.24
④ 地域に関わられた学校づくり (2は富谷校関連のため省略)	1 交流学習や居住地校学習、地域貢献等をとおして、地域との交流や理解啓発を積極的に推進している。	3.35
	3 学校ホームページ等による情報提供の充実に努めている。	2.99

<データ数:107>

<自己評価教職員アンケート集計結果に関する分析・考察>



①評価がよかった項目(そう思う+ややそう思う:85%以上とする)について

1 1項目中8項目(73%)で評価がよかった。特に、目標①-2「保護者や関係諸機関との連携・協力」、目標③-3「労働・福祉関係機関との連携」、目標④-1「地域との交流・理解啓発」については、とても高い評価であった。地域支援部・進路指導部を中心とした関係諸機関との連携や居住地校学習・近隣小中高校との交流学習等の取り組みが高く評価されていると考える。

②評価があまりよくなかった項目(あまり+そう思わない:16%以上とする)について

1 1項目中3項目(27%)で評価があまりよくなかった。目標①-3「教育課程の編成・見直し」、目標②-1「共同研究の推進」、目標③-2「キャリア教育の充実」については、2割前後の職員が、多様な児童生徒の実態に応じた教育課程の在り方やこれまでの共同研究の成果の活用や今後の取り組みに何らかの課題を感じていることが読み取れる。

教育課程については、狭隘化の現状から直ちに学級編制や教育課程を分けることが難しいことや多様な児童生徒と一緒に学ぶという本校の歴史や伝統が現在まで至っていることを踏まえ、まずは、指導内容の改善や実施した授業改善等の実践の積み上げを行っていきたい。